

承認組合（※）による農林漁業法人等への出資事例

【承認組合の概要】

組 合 名 称	K F G アグリファンド投資事業有限責任組合	
運 営 主 体	肥銀キャピタル株式会社、鹿児島ディベロップメント株式会社	
組 合 員	肥後銀行、鹿児島銀行、日本政策金融公庫	
組 合 規 模	10 億円	
投 資 対 象 の 範 囲	熊本県・鹿児島県・宮崎県を中心とした九州地域の認定農業者である農業法人(認定農業者となることが確実な法人も含む)を投資対象とし、規模拡大や財務体質強化を目的として、当該企業が発行する株式および社債を主たる投資対象とする。	
上 記 組 合 に 関 する 問 い 合 わ せ 先	担当部署	鹿児島ディベロップメント株式会社
	連絡先	T E L : 099-295-6151

※「承認組合」とは、農林漁業法人等投資育成事業に関する計画について農林水産大臣の承認を受け、農林漁業法人等の株式等の取得及び投資先農林漁業法人等に対して経営又は技術の指導を行う投資事業有限責任組合のことです。

【出資概要】

事例 1	出 資 先 名	株式会社春一番
	所 在 地	鹿児島県日置市
	事 業 内 容	農産物の生産、加工及び販売
	出 資 額	31.5 百万円 (普通株式 18.5 百万円、種類株式 13 百万円)
	出 資 の 経 緯 (目 的)	鹿児島県の基幹産業である農業分野において、農業従事者の減少や、高齢化、耕作放棄地の増加といった地域が抱える課題の解決へ向け、鹿児島銀行が各事業パートナーと共同で農産物の生産・加工・販売などを行う会社を設立。福利厚生面の充実など、農業法人における「真の企業化」を目指していくものであり、地域活性化に繋がるとの観点から投資を決定。
	出 資 金 の 使 途	運転資金及び設備資金
	出 資 形 態	普通株式及び無議決権株式引受
	契 約 時 期	平成 28 (2016) 年 9 月

事例 2	出 資 先 名	株式会社日野洋蘭園
	所 在 地	鹿児島県薩摩郡さつま町
	事 業 内 容	胡蝶蘭の切り花並びに切り葉の生産及び販売
	投 資 額	199 百万円 (新株予約権付社債 100 百万円、種類株式 99 百万円)
	投資の経緯 (目的)	同社は、胡蝶蘭の切り花、アレンジ用切り葉の数品目で国内トップシェアと生産規模を誇るが、以前から事業承継が課題となっており、今回、当承認組合が中心となり、同社株式を一部引き受けたもの。 メインバンクである鹿児島銀行から人材派遣を行い、社内の後継者育成までの橋渡しを行うことで当社の事業継続を支援し、更なる発展に寄与する。
	出資金の用途	株式取得資金及び役員退職金支払資金
	投資形態	新株予約権付社債及び無議決権株式引受
契約時期	平成 29 (2017) 年 10 月	

事例 3	出 資 先 名	株式会社ナガイエ
	所 在 地	熊本県熊本市
	事 業 内 容	豚肉生産加工、太陽光発電
	出 資 額	99 百万円
	投資の経緯 (目的)	同社は、熊本県内において豚の一貫経営（繁殖から加工まで）を行っており、県内トップシェアを誇る。豚肉市場が拡大する中、同社の繁殖・肥育施設拡張による増産体制の構築をサポートするため今回の出資を決定した。
	出資金の用途	設備資金
	投資形態	無議決権株式引受
契約時期	平成 29 (2017) 年 10 月	

事例 4	出 資 先 名	熊本ワインファーム株式会社
	所 在 地	熊本県熊本市
	事 業 内 容	ワイン用のブドウ生産、ワイン製造および販売 他
	出 資 額	10 百万円 (種類株式)
	出 資 の 経 緯 (目 的)	同社は、ワイン品評会で数々の賞を受賞する「熊本ワイン(株)」の関連会社であり、ワインの製造および販売を行う。山鹿市や地域のブドウ生産者などと連携した「菊鹿ワイナリー」事業を実施しており、同社の取組が地域活性化に繋がるとの観点から、今回の出資を決定した。
	出 資 金 の 使 途	運転資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
	契 約 時 期	平成 30 (2018) 年 10 月